

令和8年10月8日

報道関係各位

北海道浦幌町
東洋ライス株式会社

浦幌町と東洋ライス株式会社が包括連携協定を締結 ～妊娠・出産から子ども、高齢者まで、町民の健康づくりを推進～

この度、北海道浦幌町（町長：井上 亨、以下「浦幌町」）と東洋ライス株式会社（本社：和歌山県和歌山市、代表取締役社長：阪本哲生）は、地域の健康づくりや食育の推進などを目的とした包括連携協定を、令和8年10月8日に締結しました。

浦幌町では、次世代を担う子どもたちが増えていくことをまちづくりの重要なテーマの一つと位置づけ、子育てと仕事を両立できる支援体制の充実や、子どもの成長段階に応じた支援など、「子どもを産み育てたい」と思う人を増やすための取り組みを進めています。

今回の連携では、まず、子育て世代 230 世帯を対象に「金芽米 10kg」を配布し、毎日の食事を通じた健康づくりを支援する共に、子どもたちの成長を支える取り組みとして、町内の小中学校の学校給食への「金芽米」の導入などを通じて、日々の食事を支えるとともに、食育や健康づくりにつながる取り組みを進めてまいります。

さらに、防災面では、研がずに炊飯でき、炊飯時の節水にもつながる「金芽米」を災害時の食事支援に活用するとともに、支援現場での炊飯に使用する炊飯釜を提供、また物資の提供にとどまらず、必要に応じて人的な支援も行い、ハード・ソフトの両面から、災害時の食生活を支える取り組みを進めてまいります。

今後は、上記の取り組みに加え、妊娠・出産を迎える方へのマタニティ健康応援や、高齢者を対象とした支援など、子どもから高齢者まで、幅広い世代を対象とした「お米」を通じた取り組みについても検討してまいります。

本協定を通じて、東洋ライスが持つお米に関する技術・ノウハウを活用し、「妊娠・出産」「子育て」「子どもの成長」「高齢者」まで、町民のさまざまなライフステージに寄り添いながら、「お米」を起点とした健康づくり、食育、農業振興、防災、地域活性化など、浦幌町が進める幅広い取り組みを支えてまいります。

※「金芽米」は、東洋ライス独自の加工技術によって、ビタミンやミネラルなどの滋養源である玄米の栄養を残したまま、美味しく、消化性に優れたコメです。一般的な精米加工ではヌカと一緒に取れてしまう、栄養と旨味成分が含まれる「亜糊粉層（あこふんそう）」を表面に残すことで、ほのかな甘みを感じられるのが特徴です。近年では、金芽米等の継続摂取

NEWS RELEASE

による健康への効果を実証し、論文発表されています。

【包括連携協定における連携事項】

- (1) 健康増進に関すること。
- (2) 食育に関すること。
- (3) 農業振興に関すること。
- (4) 防災に関すること。
- (5) 情報発信に関すること。
- (6) 地域活性化に関すること。
- (7) その他、本協定の目的を達成するために甲及び乙が必要と認める事項に関すること。

【浦幌町の概要】

浦幌町は北海道十勝地方の最も東に位置し、南は太平洋に面した、豊かな森と大地に恵まれたまちです。帯広市から約 50km、釧路市から約 70km の距離にあります。町の面積の約 7 割を森林が占め、町の中央を流れる浦幌川の流域には肥沃な耕地が広がっています。この耕地では小麦・豆類・ばれいしょ・てんさいなどの畑作や、酪農・畜産が営まれ、沿岸部では漁業も行われています。近年は、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの成長を支え、ふるさとへの誇りと愛着を育む町独自の教育プログラム「うらほろスタイル」を推進しています。あわせて、企業との連携による地域課題の解決や、郵便局を活用したオンライン診療の実証など、人口減少時代を見据えたまちづくりを進めています。

面積：729.85km² ／ 人口：3,914 人（令和 8 年 9 月 30 日現在）

【東洋ライス株式会社の概要】

- ・設立＝1961 年（昭和 36 年）
- ・資本金＝1 億円
- ・事業内容＝金芽米、金芽ロウカット玄米、B G 無洗米の加工・製造・販売、精米機器の開発・製造販売その他
- ・和歌山本社所在地＝和歌山県和歌山市黒田 1 2
- ・電話番号＝073-471-3011 ・URL＝ <https://www.toyo-rice.jp/>

【本件に関する問い合わせ先】

- 北海道浦幌町 浦幌町まちづくり政策課企画振興係長 前川 TEL：015-576-2111
- 東洋ライス株式会社 企画広報部 間 TEL：073-471-3011